

事業評価シート

番号 1040014 - 1

【1.基本情報】

事業名	運動を通じた健康づくり支援				
担当部署	保健衛生部	担当課名	北保健センター		
未来地図政策	活動の源になる健康づくりの推進		政策コード	2 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	介護保険法、岐阜市高齢福祉計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の健康寿命延伸を図るため、フレイル予防及び生活機能の低下予防、介護予防の観点から、市民と協働で運動を通じた健康づくり活動及び介護予防活動を地域において展開する。				
事業の内容	フレイル予防、生活機能低下及び介護予防に効果的な「いきいき筋トレ体操」を市民に普及する「いきいき筋トレサポーター」を養成するため、「いきいき筋トレサポーター養成講座」を開催する。さらに講座を修了した「いきいき筋トレサポーター」が地域において「いきいき筋トレ体操」普及活動を円滑にすすめることができるよう研修会等を定期的実施する。また広報等で市民に広く「いきいき筋トレ体操」の普及啓発をはかる。				
事業の対象	何を	いきいき筋トレ体操			
	誰に (対象者・対象者数)	1. いきいき筋トレサポーター養成講座参加者 2. いきいき筋トレサポーター 3. いきいき筋トレ体操参加者			
	どのくらい (具体的 数値で)	1. いきいき筋トレサポーター養成講座 (令和2年度コロナウイルスのため中止) 2. いきいき筋トレサポーター交流会及び体力測定 (令和2年度コロナウイルスのため中止) 3. フォローアップ研修会 (令和2年度:前期1回×5会場、後期:コロナウイルスのため中止) 4. 合同調整会議 (令和2年度:コロナウイルスのため中止) 5. いきいき筋トレ体操サポーター活動延べ回数(令和2年度:365回) 6. 筋トレ体操定期開催会場数(令和2年度:118ヶ所)			
令和2年度 (実施内容)	1. いきいき筋トレサポーター前期フォローアップ研修会の開催 2. いきいき筋トレ体操の普及啓発(自宅でできる体操リーフレットの作成、いきいき筋トレ体操動画の配信、DVD作成) 3. 地域活動の場に講師を派遣し、筋トレサポーターによる普及活動を支援 4. 普及活動の具体的な課題等を調整する地域活動調整連絡会議の開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	12,902	407	13,838	407	11,375	350
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	12,902	407	13,838	407	11,375	350

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
直接経費【直接事業費】(B)	1,297	1,369	1,385	
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
項目	報償費	732	778	169
	消耗品費	166	227	506
	印刷製本費	198	257	358
減価償却費【施設管理】※(C)				
計(D)=B+C	1,297	1,369	1,385	

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E) =A+D	14,199	15,207	12,760

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	332	273	277
県支出金	162	171	173
市債			
使用料・手数料			
その他	641	924	935
計(F)	1,135	1,368	1,385

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	13,064	13,839	11,375

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	55,788	45,286	5,440
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	234	306	2,091

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	いきいき筋トレサポーター養成講座・フォローアップ研修会等	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	10	10
実績値	10	10	5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	いきいき筋トレ体操参加者延数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21,240	21,240	21,240
実績値	55,788	45,286	5,440
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	住み慣れた地域で生涯にわたり、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくことができるよう、介護予防に取り組む必要がある。「いきいき筋トレ体操」は高齢者が気軽に取り組むことができる運動として広く市民に普及していることから、社会的ニーズに合っている。 市民の健康寿命延伸を図るため、特にコロナ禍におけるフレイル予防及び生活機能の低下、介護予防の観点から、地域住民が主体的に健康づくり活動に取り組めるよう本市が支援する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	いきいき筋トレサポーターは市内のほぼ全域においてボランティアで活動しており、費用対効果は高い。 本市と市民である「いきいき筋トレサポーター」が協働で取り組んでいる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	令和2年度は、コロナウイルス感染症の影響で活動が休止となり、参加者は延べ5,440人とどまった。今後、コロナウイルスによるフレイルと要介護者数の増加が懸念されるため、感染防止対策を講じながら活動をすすめていく必要がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	いきいき筋トレサポーターによる普及啓発活動は、市内50地区全域において行われており、公平性は確保されている。 その他、いきいき筋トレ体操の動画をホームページにアップし、市民誰もが活用できるようになっている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	コロナウイルスの影響による高齢者の身体活動量の低下が指摘されており、いきいき筋トレ体操の効果が介護予防として期待できることから、事業を継続する。